

# ★ちば県議会だより

党派等別議員数		
党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	49人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	13人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	4人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	4人

定数94人 現員84人 (令和4年10月14日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



## 9月定例会県議会のあらまし

9月定例会県議会は、9月15日に招集され、10月14日までの30日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和4年度一般会計補正予算等の議案15件、報告3件および決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と新型コロナウイルス感染症等について報告がありました。

9月22日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、25名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

9月28日には、鶴岡宏祥副議長の議員辞職により、副議長選挙が行われ、山本義一議員が第75代副議長に選出されました。各常任委員会は、10月5日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、令和4年度補正予算関係の議案1件が追加上程され、知事から提案理由説明があった後、所管の常任委員会(総務防災・総合企画企業・健康福祉・環境生活警察・商工労働・農林水産)に付託され、具体的・専門的な審査が行われました。本会議再開後、各常任委員会委員長および議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、追加上程された議案を含む16件の議案全てが原案のとおり可決されました。続いて、議員発議案18件(条例3件、決議1件、意見書14件)のうち条例1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

## 8月臨時県議会のあらまし

8月臨時県議会は、8月25日に開催されました。

初めに、議長の諸般の報告があり、続いて議案2件、報告14件が上程され、知事から提案理由説明がありました。

副知事の選任につき同意を求めることについては、先議となり採決の結果、同意されました。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正については、総務防災常任委員会に付託され、具体的・専門的な審査が行われました。

本会議再開後、総務防災常任委員会委員長の審査結果報告が行われ、採決の結果、原案のとおり可決され、今臨時会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

## 副議長紹介



第75代副議長  
山本 義一 議員  
(自民党 八街市 4期)

鶴岡前副議長の辞職に伴い、9月28日に副議長選挙が行われ、第75代副議長に山本義一議員が選出されました。就任に当たり、山本副議長は「佐野議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしていく」とあいさつしました。

## 9月26日(月)



公明党  
横山 秀明 議員  
(八千代市)

- ▼がん対策
- ▼リトルベビーハンドブックの推進
- ▼コロナ禍における原油価格・物価高騰への対応
- ▼県立美術館の活性化
- ▼浄化槽行政の推進
- ▼行政のデジタル化



立千民  
網中 肇 議員  
(千葉市中央区)

- ▼新型コロナ対策の推進
- ▼がん健診と相談支援体制の強化
- ▼男女共同参画の市町村との連携
- ▼金属スクラップヤード条例の制定
- ▼県地球温暖化対策計画の改定
- ▼県立高校のICT化の推進

## 9月22日(木)



自民党  
今井 勝 議員  
(我孫子市)

- ▼知事の政治姿勢
- ▼財政運営
- ▼新型コロナウイルス感染症への個別の対策
- ▼成田空港
- ▼県内の幹線道路ネットワーク教育問題

## 代表質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 9月 検索

## 議員定数及び選挙区を改正

千葉県議会議員の定数及び選挙区等に関する条例の一部が改正され、次回の一般選挙から次のとおりとなります。

選挙区 42 ▶ 41 定数 94 ▶ 95

### 【前回の選挙から変更のあった選挙区及び定数】

前回の選挙区	定数	変更後の選挙区	定数	増減
勝浦市・夷隅郡	1	勝浦市・いすみ市・夷隅郡	2	±0
いすみ市	1			
流山市	2	流山市	3	+1

太字が改正された選挙区とその議員数です。

選挙区	議員数
長生郡選挙区	1人
千葉市中央区選挙区	3人
千葉市花見川区選挙区	3人
千葉市稲毛区選挙区	2人
千葉市若葉区選挙区	2人
千葉市緑区選挙区	2人
千葉市美浜区選挙区	2人
銚子市・香取郡東庄町選挙区	2人
市川市選挙区	6人
船橋市選挙区	7人
館山市選挙区	1人
木更津市選挙区	2人
松戸市選挙区	7人
野田市選挙区	2人
茂原市選挙区	2人
成田市選挙区	2人
佐倉市・印旛郡酒々井町選挙区	3人
東金市選挙区	1人
旭市選挙区	1人

習志野市選挙区	2人
柏市選挙区	5人
勝浦市・いすみ市・夷隅郡選挙区	2人
市原市選挙区	4人
流山市選挙区	3人
八千代市選挙区	3人
我孫子市選挙区	2人
鴨川市・南房総市・安房郡選挙区	2人
鎌ヶ谷市選挙区	2人
君津市選挙区	2人
富津市選挙区	1人
浦安市選挙区	2人
四街道市選挙区	2人
袖ヶ浦市選挙区	1人
八街市選挙区	1人
印西市・印旛郡栄町選挙区	2人
白井市選挙区	1人
富里市選挙区	1人
匝瑳市選挙区	1人
香取市・香取郡神崎町・香取郡多古町選挙区	2人
山武市・山武郡選挙区	2人
大網白里市選挙区	1人



# 代表質問から

## 新型コロナウイルス感染症

**問** 知事は、新型コロナウイルスに係る国の動きを受けて、今後の感染防止対策や医療の逼迫の回避にどのように取り組んでいくのか。

**答** 県では、発生届の対象外となる人にも必要な療養サービス等を提供できるよう、医療機関等の関係者と調整しながら、実施に向けた検討を進めてきた。

具体的には、医療機関で診断を受けた人や自己検査の結果が陽性であった人等のうち、届出対象外の人については、陽性者登録センターへ登録してもらうことで、健康相談、配食サービス、パルスオキシメーターの貸し出し、宿泊療養など、必要な相談や支援につなげるようにする。

引き続き、県民、事業者に対する基本的感染対策の徹底や、病床等の確保などの医療提供体制の充実に取り組み、社会経済活動の維持と医療の逼迫の回避を図っていく。

また、県では、これまでも国に対して、新型コロナウイルス感染症への対応に係る必要な見直しや支援について要望してきた。今後、地方自治体の立場からの意見を国に届け続け、国が示す方針を確認しつつ、対策に全力で取り組んでいく。

## 児童相談所

**問** 知事は、児童相談所の喫緊の課題である人材確保と育成について、今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 児童虐待相談対応件数が増加傾向にある中で、今後整備を進める4カ所を含め児童相談所を適切に運営していくためには、人材の確保と育成等を図っていくことが大変重要であると認識している。

人材確保に向けては、今後、策定を予定している児童相談所職員の人材育成方針の中で、専門職員としての知識やスキルを身に付けていくために経験すべき業務や、職位に応じて必要となる能力などを明確にしたキャリアデザインを示し、採用活動時に活用するなど、児童相談所で働く魅力を伝えていく取り組みを行う。

また、人材育成方針では、児童相談所職員の目指すべき姿を示すとともに、職種や職員の特性に合わせた人員配置や研修の在り方やモチベーションの向上を図る取り組みにつなげるなど、一層の人材確保・育成に努めていく。

## 財政運営

**問** 令和4年度9月補正予算は、どのような点に力を入れて編成したのか。

また、国の物価高騰対策を受けて、県としてどのように対応するのか。

**答** 今回の補正予算では、引き続き感染症対策に万全を期すとともに、物価高騰等により深刻な影響を受けている県民や事業者を支援するため、

・特に経済的な負担が大きい多子世帯の公立学校給食費の無償化  
・資材価格などが高騰により厳しい経営環境に置かれた農業者・漁業者への支援  
などの経費を計上した他、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、早期に取り組むべき事業を計上した。

また、さらなる物価高騰への対応については、国の物価高騰対策において創設された交付金の詳細を確認しながら、現在、補正予算を編成しているところである。できる限り速やかに支援を行うことができれば、今議会において追加提案したいと考えている。

## 成田空港

**問** 新しい成田空港構想の策定に向けた状況はどうか。

**答** 新たな滑走路の整備により、発着容量50万回を目指す、さらなる機能強化が着実に進められようとしている中、空港会社が策定する新しい空港構想は、我が国の国際競争力の向上や空港周辺のまちづくりが大きく関わる大変重要なものであると認識している。

この構想の策定に向け、空港会社からは、旅客施設を1つのターミナルに再構築することや、航空物流施設を集約した新たな貨物地区の整備、都心や周辺地域等との道路・鉄道アクセスの向上などといった基本的なコンセプトについて、今年14日に開催された意見交換会において、県や関係市町へ説明があり、協議が始まったところである。

今後、空港会社では、有識者や国、県、市町から意見を聞きながら、いくつかのテーマに分けて議論を深めていくとしており、県と

しては、市町と連携しながら、構想の策定に対応していく。

**問** 県は国家戦略特区の指定に向け、どのような点を重視して取り組んでいるのか。

**答** 成田空港は、豊富な旅客便の国際ネットワークを生かし、我が国の航空貨物の半数以上が集中する航空物流の拠点として、大きな役割を果たしている。

また、サプライチェーンがグローバル化している中、国民生活や経済活動にとって不可欠となる医療関連物資や半導体、電子部品などを迅速かつ安定的に確保することがますます重要となっており、これらを支える成田空港の物流機能を、国家戦略として抜本的に強化することが必要と考えている。

国家戦略特区の指定に向けては、このような展望を踏まえ、空港内外で一体的に運用できる物流拠点の実現を重視し、空港周辺地域における土地利用規制の緩和に取り組んでいる。

## 教育問題

**問** 「県立高校改革推進プラン」を踏まえ、「第1次実施プログラム(案)」では、どのような県立高校を目指していくのか。

**答** 当該プログラム案では、本年3月に策定した「県立高校改革推進プラン」を具現化するため、教員や医療・介護従事者など地域に不足する人材を育成するコースを拡充するとともに、時代のニーズを踏まえた新たな価値を生み出す人材の育成に向けて、起業家の育成に関するコース、先端的なICTを学ぶコースなどを設置していく。

また、特に郡部では、今後も中学校卒業生数の減少が続くと見込まれるが、生徒の通学の利便性

や地元からの進学状況を踏まえ、地域の協力や支援を得つつ教育活動を継続させる「地域連携協働校」を指定するなど、地域の実情に即した県立高校の在り方を検討していく。

**問** 学校給食費の無償化について、事業開始に向けてどのように進めていくのか。

**答** 県では、特に子どもの多い世代において、物価高騰による家計への影響が大きいと考えられることから、第3子以降を対象とした給食費無償化を来年1月から実施することとした。

事業を検討する中で、給食費無償化に係る市町村の意向調査を行ったところ、これまで無償化を実施していない市町村を含め、多くの自治体から補助金申請の意向が示されている。

今後は、制度利用時の市町村の事務負担軽減を考慮しつつ手続きの詳細を固め、早期にマニュアルを示すなど、円滑な実施に向けて万全を期していく。

## 金属スクラップヤード

**問** 金属スクラップヤード等の規制に関する条例制定に向けた現在の検討状況と、今後の見通しはどうか。

**答** 県では、昨年度に実施した金属スクラップヤード等に関する調査の結果、332事業場のうち、108の事業場で、騒音・振動、油汚染、火災発生等の周辺への影響が認められたことを踏まえ、本年6月議会で、規制に関する条例の制定を検討する、と表明した。

現在は、周辺への影響について、騒音の大きさや時間帯、加工工程で生じる汚水の処理状況等、詳細な調査を行うとともに、立地の実

## 地球温暖化対策

**問** 温暖化対策推進法の改正に伴う、県の実行計画の改定に向けた状況はどうか。

**答** 現在、千葉県地球温暖化対策実行計画の改定に向けて、2030年度に向けた温室効果ガスの新たな排出削減目標の検討

・再生可能エネルギーの導入目標の算定に向けた調査  
・目標達成に向けた今後の県の施策の検討

などを行っている。  
これらを踏まえ、今後、千葉県カーボンニュートラル推進本部での議論などを経て、本年11月ごろをめどに、実行計画の骨子案を決定したい。

## 県立美術館

**問** 地域に開かれた県立美術館となるよう、県では、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** アドバイザリー会議の委員からは、「美術館が千葉みなと地区に立地をしているという恵まれた環境を生かし、周辺施設との連携やにぎわい創出等による地域に開かれた美術館を目指すべき」との意見も出されている。

このため、県としては、まずはポートパークとの連絡通路の改修や、周辺観光につながる屋外案内板の整備、アート体験遊具や敷地内の屋外テーブルの設置などの経費を9月補正予算案に計上した。



9月定例県議会より

▼可決された議案・発議案

- ◆ 令和4年度補正予算関係(6件)
- ▼一般会計(2件)
- ▼特別会計(4件)
- ◆ 条例の制定
- ▼千葉県県立学校チャレンジ応援基金条例
- ◆ 条例の一部改正(6件)
- ▼職員等の定年等に関する条例等
- ▼職員の退職手当に関する条例
- ▼千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▼千葉県医師修学資金貸付条例
- ▼建築基準法施行条例
- ◆ その他(3件)
- ▼財産の取得(2件)
- ▼首都高速道路株式会社が行う高速道路事業の変更
- ◆ 議員提出
- ▼千葉県県議会議員の定数及び選挙区等に関する条例

8月臨時県議会より

▼可決・同意された議案

- ◆ 条例の一部改正
- ▼職員の育児休業等に関する条例
- ◆ その他
- ▼副知事の選任同意





総務防災常任委員会

問 定年引き上げにより、新規採用者が年度によって大幅に変動する可能性があり、職員の経験年数や年齢構成に偏りが生じることが懸念されるが、職員採用の考え方はどうか。

答 定年引き上げが段階的に行われても、一定の新規採用者を継続的に確保することにより、組織全体の活力の維持向上につながることを重要と考えている。

このため、新規採用者数の平準化を図るなど、適切に対応していく。

総合企画企業常任委員会

問 燃料価格の高騰の影響を受ける公共交通事業者への支援金について、規模が小さい事業者も多いため、申請手続きが負担とならないようにすべきだが、どのように進めていく予定か。

答 具体的な手続きについては、これまで実施してきた感染症対策の支援金の手続きと同様のやり方での申請を可能とするなど、事業者の負担とならないようにしたい。

健康福祉常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症対策について、発生届の対象外となった人に対する支援は、どのように行われるのか。

答 発生届の対象とならない人も、陽性者登録センターに登録ができるよう体制を拡充した。センターに登録すると必要に応じ、健康相談等、安心して自宅療養を行うための支援を利用することができる。

環境生活警察常任委員会

問 電話de詐欺被害防止のため、年末に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 県警では、10月「電話de詐欺被害防止強化月間」に設定し、広報啓発活動や警戒活動を強化している。

具体的には、高齢者世帯に対する個別訪問、固定電話機対策などに取り組んでいる。

さらに、被害多発地域では、捜査体制を強化して被疑者の検挙対策に取り組むとともに、無人ATM等の警戒強化による抑止対策を徹底している。

年末に向けて、引き続き、関係機関・団体等と連携して、実効ある電話de詐欺被害防止対策を推進する。

商工労働常任委員会

問 貨物運送事業者物価高騰対策支援事業について、申請受け付けをいつから始めるのか。

答 多くの業界に対して影響を与える物流を担う中小貨物運送事業者に、できるだけ早く支援を届ける必要があると考えている。一方で、誤りなく支援を行うためには、相談体制、審査体制等の整備のために、準備期間が必要になることから、年内の申請受け付け開始を目指して取り組んでいく。

農林水産常任委員会

問 肥料価格高騰緊急支援事業は、申請件数が非常に多くなるが予想される。

答 支援金交付の迅速化に向け、どのように対応をしていくのか。

答 国の事業が事務手続きを簡素化し、早ければ年内にも支払いが開始できる制度とな

っていることから、県も国に上乘せすることで、速やかに支援金の支払いができるようにした。農協など関係者との連携を図りながら、手続きを進めていく。

県土整備常任委員会

問 道路整備にかかる事業監理について、どのような効果が期待されるのか。

また、どのような体制で実施するのか。

答 事業監理の導入により、集中的に発生する関係機関協議などについて、効率的なマネジメントを行い、工事の早期着手を図ることを期待して

いる。事業監理を進めるに当たっては、関係する土木事務所、分野ごとの担当技術者と、これを統括する主任技術者を配置し、職員を補助する体制とする。

なお、業務の判断や指示については、県職員が責任を持つて行っていく。

文教常任委員会

問 県立学校チャレンジ応援基金を設置し、寄附金を募集することだが、目標額が集まらなかった場合、どのように対応するのか。

答 学校の意向を確認した上で、計画内容の変更等により対応していく。目標額の達成に向けて、県の広報誌等も活用し、広く制度の周知に努める。

「決算審査特別委員会」の設置



令和4年9月定例県議会において、千葉県の令和3年度一般会計および特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

■審査日程(開会時間 各日午前10時)

10月17日(月)・18日(火)・31日(月)・11月4日(金)・7日(月)・14日(月)

■委員名簿

会派名	委員名	
自民党	◎ 武田正光 ○ 岩井泰憲 斉藤 守 三 沢 智 小藤 正 伊 豆 倉 太 高橋 秀 伊 藤 雄 宮坂 奈 宮 川 浩	
	立千民	天野行雄 高 仲 村 秀 明
	公明党	秋戸隆史 仲 村 秀 明
千葉会	岩波初美	
共産党	加藤 英 雄	

◎委員長 ○副委員長

令和4年10月4日現在

常任委員会活動報告

総務防災常任委員会

調査日: 令和4年10月5日(水)

調査先: 千葉県消防学校(市原市)

消防学校における教育訓練等

消防学校における県内の消防職員および消防団員に対する教育訓練等について調査するとともに、校内の訓練施設等を視察しました。



訓練用ドローンの操縦の説明を受ける委員

商工労働常任委員会

調査日: 令和4年10月7日(金)

調査先: ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京(木更津市)

県内立地企業の取り組みについて

ポルシェ・エクスペリエンスセンター東京を視察し、千葉県および地元市町村等の地域社会と緊密に協力した取り組み等について調査しました。



施設の概要について説明を受ける委員

健康福祉常任委員会

調査日: 令和4年10月6日(木)

千葉県がんセンターの整備状況等について

千葉県がんセンターの現在の整備の進捗状況と、職員から利便性の改善を求められている駐車場の現地を確認しました。



病院長の挨拶の後、現在の整備状況等について説明を受ける委員



ちば県議会だより



質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

9月26日(月)



立千民 野田 剛彦 議員 (船橋市)

- 婚活支援
不登校
河川問題
東葛南部保健医療圏の諸課題



共産党 由美 議員 (松戸市)

- 物価高騰対策
新型コロナウイルス感染症対策
教員未配置
木更津看護学院パワハラ問題

9月28日(水)



立千民 竹内 圭司 議員 (千葉市緑区)

- 学校給食費の無償化
マイナンバーカード
県営水道
受動喫煙防止対策



自民党 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市)

- 都市基盤の整備
新鎌ヶ谷駅に隣接する県有地
子育て支援
教職員の働き方改革

9月29日(木)



立千民 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

- 千葉県国民保護の地下避難施設
小糸川の着色水及びシアン検出
メール情報の流出
電話の詐欺対策



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

- エビデンスに基づいた政策決定
現代産業科学館
教師不足の解消
学校給食費無償化の支援



公明党 阿部 俊昭 議員 (柏市)

- 農産物の輸出へ茨城県との連携
パーキングパーミット制度
児童相談所と施設と家庭の連携
県立学校チャレンジ応援基金



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

- 成田空港
道路行政
教育行政
国際戦略



自民党 岩井 泰憲 議員 (印西市・印旛郡栄町)

- 県立博物館
放課後等デイサービスにおける課題
消防広域化
保健所内のコロナ体制

9月30日(金)



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

- 海匠合同庁舎の移転
地域連携協働校
肥料価格高騰対策事業
銚子連絡道路



千翔会 谷田川 充丈 議員 (香取市・香取郡神崎町・香取郡多古町)

- 新型コロナウイルス対策
医療問題
農業政策
盛土問題



自民党 宮坂 奈緒 議員 (浦安市)

- 地域防災力の強化
浦安市における河川海岸整備
特別支援学校
交番



無所属 田沼 隆志 議員 (四街道市)

- ウクライナ紛争等を教訓とした、県安全保障
金属スクラップヤード等条例の検討
四街道市内の県道の整備促進
保育士確保に向けた処遇改善



自民党 小野崎 正喜 議員 (山武市・山武郡)

- 県総合スポーツセンター陸上競技場
県道飯岡一宮線
蓮沼海浜公園
成田空港

10月3日(月)



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

- 鹿島川
踏切道における拡幅
県庁舎の照明のLED化
千葉県信用保証協会のコロナ禍での取組状況



平和党 西尾 憲一 議員 (船橋市)

- 県議の海外派遣を廃止に
県立高校に修学旅行支援制度を
議会棟の喫煙専用室を廃止に
生涯大学校を葛南地域にも



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

- 成田国際空港
防災力の強化
農林業問題
安全・安心なまちづくり



無所属 坂下 しげき 議員 (市川市)

- 市川市への救命救急センター設置
障害児・者の学校及び施設の充実
高齢者施設や買い物支援の充実
災害時の水・電源確保や農業支援



無所属 松崎 太郎 議員 (柏市)

- 飲料用自動販売機
生涯大学校
交通安全対策
警察署の新設



自民党 阿部 紘一 議員 (千葉市稲毛区)

- 議会質問と執行部答弁
新型コロナウイルス感染症対策
看護問題
教育問題



自民党 木下 敬二 議員 (鴨川市・南房総市・安房郡)

- 防災対策
農業
水産業



自民党 浜田 穂積 議員 (柏市)

- 医療問題
水田農業の担い手
千葉北西連絡道路
公立中学校部活動への社会人の活用

千葉県議会ホームページ

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介
傍聴のご案内
インターネット中継(ライブ・録画)
本会議および予算委員会(過去3年分視聴可)
会議録検索
会議の概要
議会図書室の利用案内

(ホームページアドレス) https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html

インターネット中継 動画配信中

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

千葉県議会中継 検索

9月定例会県議会 知事あいさつ

諸般の報告

まず、新型コロナウイルス感染症について申し上げます。7月下旬に、本県の新規感染者数が1万人を超えるまでに急拡大した状況を受け、県では、病床確保のフェーズを引き上げ、臨時医療施設などの受け入れを再開するとともに、「検査キット配付・陽性者登録センター」を再開し、体制を拡充しました。

また、8月には「BA.5対策強化宣言」を行い、県民や事業者の皆さまに感染防止対策の徹底などをあらためて呼びかけました。

9月に入り、感染者数が減少し、即応病床使用率も減少傾向となったことから、昨日をもって「BA.5対策強化宣言」は解除したところですが、感染防止対策は継続して行っていく必要があるため、県民や事業者の皆さまには、基本的な感染対策の徹底や業種別ガイドラインの遵守などについて、引き続きご協力をお願い致します。

なお、国では、感染者の全数詳細把握の見直しを今月26日から全国一律で実施することとしました。県としましては、この取り組みによって医療機関や保健所の業務負担を軽減しつつ、届け出の対象外となる方々にも必要な療養サービスを提供できるよう、十分な環境整備を行ってまいります。

令和4年度補正予算案他

このたび提案致しました案件は、令和4年度9月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の15議案の他、報告3件および「決算認定について」です。



以下、その主な概要について申し上げます。議案第1号は、令和4年度一般会計の補正予算案です。9月補正予算では、新型コロナウイルスの感染者数の急増などを受け感染対策に万全を期す他、物価高騰により深刻な影響を受けている方々への支援や、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ早期に取り組むべき事業を計上致しました。さらに、健全な財政運営に資するよう、令和3年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。この結果、補正予算額は673億7,800万円で、補正後の予算規模は2兆2,569億3,500万円となります。この他、主な施策と議案についての概要説明と「ちばアクトアライアソン2022」について報告がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

令和4年12月定例会県議会 会期および議事・委員会予定(案案)

Table with columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議時間. Rows include dates from 11月25日 to 12月20日 with details on sessions and committees.

\*本会はおおむねの日程であり、招集日以前の議会運営委員会でご協議されます。

\*傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV ...チャパレでの生放送を予定しております。

パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。